

(第3学年)

月	分野	単元名	学習活動	時数	評価規準	観点	評価方法
4月	公民的分野	第1章 現代社会と私達の生活	現代の社会を探ってみよう	11	板書ノートと自由研究ノートを年間を通して活用するための意識がきちんと確立している。		授業態度 ノート 提出物 (通年)
		年表:現代社会の歩み	電化製品が家庭に普及		現代社会の様々な事象に対し、興味・関心をもつことができる。		
			食生活の変化		年表や写真資料などから、現代日本の発展の過程と国際化の進展のあらましについて考えることができるような、課題を設定することができる。		
			変わってきた生活と職業		課題にあった資料を収集、選択し、的確に発表用資料にまとめることができる。		
			情報社会と私達の暮らし		適切な資料をもとに自分の考えをまとめ、わかりやすく発表することができる。		
			多文化社会に生きる		高度経済成長以降の日本の発展の過程を、衣食住などの生活や生活意識の変化などと関連させて理解することができる。		
					日本と世界の結びつきが深まり、国際社会における日本の役割が高まってきたことを、貿易の変化や諸外国との関係、外国の人々との交流などを通して、理解することができる。		
					グループで協力し、意欲的に資料収集や、調査活動にあたっている。		
					適切な課題を意欲的に設定し、関心を持って課題に取り組んでいる。		
					積極的に話し合い活動や発表に参加したり、進んで意見を書いたりしている。		
					公民的分野への関心を高め、新たな課題を設定することができる。		
					現代の社会を様々な角度からとらえたり、社会生活と関連づけて考えたりすることができる。		
5月	公民的分野				国際社会における日本の役割を考える事ができる。		
					社会事象を地理的分野や歴史的分野で学習したと関連させてとらえたり、総合的に思考判断したりすることができる。		
					発表や話し合いをもとに、新たな課題を設定したり、理由を答えることができる。		
6月	公民的分野	第2章人間の尊重と日本国憲法		19	今日の多様化する家族の特徴や男女共同参画社会に関心を併、個人の問題としてとらえることができる。		
		1.個人と社会生活			個人と身近な社会集団(家族・学校・地域社会)とがどのようにかかっているか、規則やルールにはどのようなものがあるか、具体的に考えることができる。		
					身近にある基本的人権に関する問題を人権尊重の考え方から取り上げ、日本国憲法とのかかわりについて調べることができる。		
7月	公民的分野	2.人権と日本国憲法			社会的に弱い立場の人が差別されず、ともに生きていける社会を実現するために自分達に何ができるか、話し合い、考えることができる。		
					多様化する家族、男女共同参画社会、個人と社会の問題について、自分達の将来と関連づけて、様々な角度から話しあうことができる。		
9月	公民的分野	3.人権と共生社会			社会の発展にともなう新しい人権問題や、その他の基本的な基本的人権にかかわる問題が解決されていく過程を、日本国憲法をもとに考える事ができる。		定期テスト
					今日のがわが国の様々な差別問題について調べ、差別を許さない民主的な社会をつくるにはどうしたらよいかについて、自分なりに考え意見を述べるすることができる。		
					統計や新聞資料等をもとに、家族や個人との社会の問題等の特徴や課題についてまとめることができる。		
					「読み切り漫画」、「人権を考えよう」、「公民にチャレンジ」や「読み物資料」を積極的に活用し、自分の考え方を発表することができる。		
					新聞などで、身の回りにある基本的人権に関する問題を見つけ、テーマを決め、各種の資料を利用して調べ、その内容をレポートなどにまとめることができる。		
					現在の家庭生活の基本となっている「個人の尊厳と良性的本質的平等」の考え方や、男女共同参画社会の実現に向けての基本的な考え方を理解することができる。		
					身近な事例を通して、個人が結びついて社会が生まれ、社会生活が営まれていること、社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつけられていることが理解できる。		
			日本国憲法の基本的原則、天皇の地位、天皇の国事行為についての説明ができる。				
			日本国憲法の基本的原則を具体的な生活とのかかわりから理解し、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として広い視野から正しく認識することができる。				
		第3章現代の民主政治と社会	1.現代の民主政治	22	身近な生活と政治とのかかわりに関心をもち、現代政治の課題を意欲的に探求することができる		

月	分野	単元名	学習活動	時数	評価規準	観点	評価方法
10月		2. 国の政治のしくみ			国会・内閣・裁判所のしくみや役割などに関心を持ち、見学や調査活動を含めた学習に積極的に取り組むことができる。		
					政治は、中央の政治と地方の政治(地よくある方自治)に分類できることに着目し、身近な地域の特色ある政治についてすすんで調べたり、住民の一人としてその在り方を考えることができる。		
					既習事項をもとに、現代政治の課題について自分のかわりに着目しながら探求し、主権者としての自分の在り方について考えようとしている。		
					さまざまな政治参加のしくみについて、その特色や背景を考えると共に、選挙をはじめとする国民の積極的な政治参加が民主政治を支えていることに気づくことができる。		
					さまざまな政治の組織やしくみが、法に基づいていることに着目し、現代政治と法とのかわりについて考えることができる。		
					具体的な事例をもとに、地方自治のしくみが、代表民主制を原則としながらも、中央の政治ではない直接民主制の手法を導入している理由について考えることができる。		
10月		3. 地方の政治と自治			P58～P60の図版や吹き出しから、人々が政治にどのような願いや要求をもっているか、読み取って発表することができる。		
					最近の新聞記事の中から、国会・内閣・裁判所に関する記事を探し出し、分類整理して、友達に提示することができる。		
					町作りの課題ないし現代政治全体の課題について、調査結果のレポートを作成したり、討論を行ったり、提言をまとめたりする等のさまざまな表現活動に取り組み、学習野成果を発信することができる。		小テスト
					既習事項を活かしながら、現代政治のおもながたいを整理する。また、その解決のためには国民が政治に関心を持つとともに、国民の積極的な政治参加が求められていることを理解する。		
					政治は、法に基づいて社会生活上の対立や争いを解消し、国民生活の向上をめざして行われていることを理解する。		定期テスト
					具体的な事例に基づいて、国会・内閣・裁判所の地位や役割のあらましを理解するとともに、三権分立の原則によって国民の自由や権利が守られていることに気づくことができる。		
11月	公民的分野	第4章わたしたちの暮らしと経済	1. 私達の生活と経済	20	商品の広告調査や小売店の聞き取りなど、身近な調査活動に関心をもって取り組み、消費者としての経済活動へのかわり方や流通・生産に関する諸問題を意欲的に追求できる。		
					経済活動や現実の経済に対して関心をもち、経済上の諸課題を意欲的に追求できる。		
					具体的な場面でどのように選択しているかシミュレーションすることで、経済活動における選択について考え、さまざまな条件の中での確かな選択を行うことができる。		定期テスト
					具体的で身近な事例から学習を進展させ、社会とのかわりについて客観的にとらえなおし、経済についての味方や考え方ができるようになる。		
12月		3. 国民生活と福祉			租税や財政についての話し合い、社会保障に関するロー路プレイの学習を通して、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について考えることができる。		
					経済活動が、社会生活にさまざまな面で密接なかかわりをもっていることをふまえ、経済上の諸問題について、自ら考え、判断することができるようになる。		
					導入部やチャレンジの課題学習において、適切な資料を用いて、自分の考え方をまとめ、わかりやすく、発言や発表をすることができる。		
					身近な消費生活を通して、経済佳津党が生活のためのしゅだんであり、人間の生活の維持・向上に欠かせないものであるといった経済活動の意義を理解することができる。		小テスト
1月		第5章地球社会とわたしたち	1. 国際問題と地球市民	19	資源・エネルギー問題や地球環境問題について関心をもち、個人としてどのようにかわっていったらよいのかを考えてみようとする。		
					人口・食糧問題について関心を持ち、新聞やテレビ、インターネットなどを通じて、さらに調べてみようとする態度がもてる。		
					地域主義の動きや地域紛争、民族問題について関心を持ち、南北問題を解決するには、どうしていったらいいのかについて考えようとする。		
					ユニセフ、ユネスコの活動やNGOなどの国際ボランティア活動について調べたり、自分にできる活動に参加してみようとする態度がもてる。		
					世界平和を実現するために自分にできることは何かを考えてみようとする。		
					「学校が発電所になった」の資料などをもとに、21世紀の資源・エネルギー問題について考え、自分の意見を述べるることができる。		

月	分野	単元名	学習活動	時数	評価規準	観点	評価方法
2月	公民的分野		2. 国際社会と世界平和		地球環境問題に対して、日常生活の中でどのように取り組んでいけばよいかについて、自分の考え方を述べる事ができる。		
					食糧問題の将来の問題点を指摘したり、南北問題の原因について考察し、その解決のための方策について、自分の意見を持つことができる。		小テスト
					地域主義の動きについて考察したり、地域紛争や民族問題の原因を追求し、その解決のための方策を考えることができる。		
					憲法9条が元々もっている本質をマッカーサーの原文から掘り起こし、元来9条とは何であったのかを再認識させ、且つ、朝鮮戦争を経て、アメリカの対日戦略が180度方向転換する中で自衛隊が生まれ、現在憲法9条そのものの解釈も大きく変わらざるを得なかった点についての認識がきちんともてる。		
					「南北問題」や「南南問題」についての認識を持ち、その解決のために何が必要なのかを説明できる。		定期テスト
					写真などから青年海外協力隊やNGOの活動の様子について発表し、このような活動の意義について考えることができる。		
					地域紛争や民族問題の解決のために国際連合が果たしている、否、果たさなければ成らない役割について理解し説明できる。		
合計				85			